

Bulletin  
of  
Kagoshima Junshin Junior College

No.46

## Article

- The Possibility of the Theory of Family in Johannes Messner  
- On the Family as the Cells of Society -  
.....Wataru Sasaki and Keiko Sasaki (1)
- The Family and the Order  
- On Divine Community and Distributive Justice in Thomas Aquinas -  
.....Wataru Sasaki (13)
- A Study on the System of "Hoikujishu Junbishitsu" -Possibilities and Difficulties-  
.....Tomoka Moriki (23)
- Thoughts on the Consultation Support Systems at Universities and Junior Colleges  
.....Yoko Dohara and Hiroshi Kiyohara (41)
- Changes in Student Awareness of Diet and Nutrition Teacher  
Following an Experience of Practice for Nutrition Education  
.....Akiko Otomi (57)
- Improvement of the Nutrition Major Course-A Learning System  
~ Aim:Meal Creation combining Culinary Skills and "Heart" ~  
.....Noriko Oyama and Kikuyo Imakiire (75)
- Report  
G Project 2014  
- Hearts in Harmony: "Thank you" from All of us Together -  
.....Wataru Sasaki, Hatsuyo Morinaga, Chizuru Hamasaki,  
Tamie Nakamura and Katsuyuki Suenaga (87)
- Management and Operation of Intranet Portal Sites at Kagoshima Immaculate Heart College  
.....Masaharu Terada, Katsuyuki Suenaga and Kenichiro Furuichi (105)
- Changes in Antibody Levels in Relation to Vaccination History  
of Measles, Rubella, Chicken Pox and Mumps  
.....Aiko Iwamoto (113)

2016

# 研究紀要

第46号

## 研究論文

- ヨハネス・メスナーにおける家族論の可能性  
- 社会の細胞としての家族 - .....佐々木 亘, 佐々木恵子 (1)
- 家族と秩序  
- トマス・アキナスにおける神的共同体と配分的正義 -  
.....佐々木 亘 (13)
- 保育実習準備室の役割 - 可能性と課題 -  
.....森木 朋佳 (23)
- 大学・短大における相談支援に関する一考察  
.....堂原 洋子, 清原 浩 (41)
- 栄養教育実習の経験による学生の栄養教諭に対する意識の変化  
.....大富あき子 (57)
- 栄養管理科の専門性を高めるための教育システム  
- 思いやりの心と調理技術が調和した食事を目指して -  
.....大山 典子, 今給黎菊代 (75)
- 報告・資料  
Gプロジェクト2014  
Hearts in Harmony ~みんなで届けるありがとう~  
.....佐々木 亘, 森永 初代, 濱崎 千鶴  
中村 民恵, 末永 勝征 (87)
- 短期大学におけるイントラネットポータルサイト構築と運用  
.....寺田 将春, 末永 勝征, 古市健一郎 (105)
- 麻疹・風疹・水痘・ムンプスの抗体保有率及び予防接種歴の推移  
.....岩本 愛子 (113)

2016年

鹿児島純心女子短期大学

## 鹿児島純心女子短期大学研究紀要投稿規程

1. 投稿資格は本学専任教職員であること。ただし、共同研究者についてはこの限りではない。
2. 投稿は、原則として単著・共著に関わらず1人2原稿までとする。
3. 投稿原稿は次の2種類に分けて募集する。
  - (1) 研究論文(Article)。独創的、かつ学術的内容で価値が認められるもの。
  - (2) 報告・資料(Report)。学術研究を目的として実験、調査、統計などのデータをまとめたもの。または事例報告、実践報告など。投稿時に(1)、(2)の種類を申請する。ただし、投稿原稿の内容から判断して変更する場合がある。
4. 原稿は完全原稿であること。

原稿提出後の文章、図表などの改正および書き換えは認めない。
5. 原稿用紙は原則として横書き、A4判、400字詰80枚以内とし(ワードプロセッサ使用の場合、A4判、42字×38行 20枚以内)、欧文では、A4判、double spaceで35枚以内とする。刷り上がり頁にして20頁以内とする。
6. 標題には、必ず欧文のタイトルを併記し、日本語または英語のkey word(5個以内)とアブストラクト(要旨)をつける。アブストラクトは、日本語の場合450字以内とし、英語の場合、150語以内とする。
7. 図表、文献および注の記載方法は、各所属学会・学会誌の投稿規程に準じる。
8. 校正は著者が行い、3校までとする。
9. 別刷は30部まで無料とする。30部を越える別刷、特別別刷および原稿不備などによる印刷代は自己負担とする。

紀要編集委員会

## 鹿児島純心女子短期大学研究紀要 第46号

平成28年1月31日 印刷  
平成28年1月31日 発行

発行者 鹿児島純心女子短期大学  
鹿児島市唐湊4丁目22番1号  
〒890-8525 TEL099(253)2677(代)  
FAX099(254)5247

製作者 斯文堂(株)